No.563 11月15日号

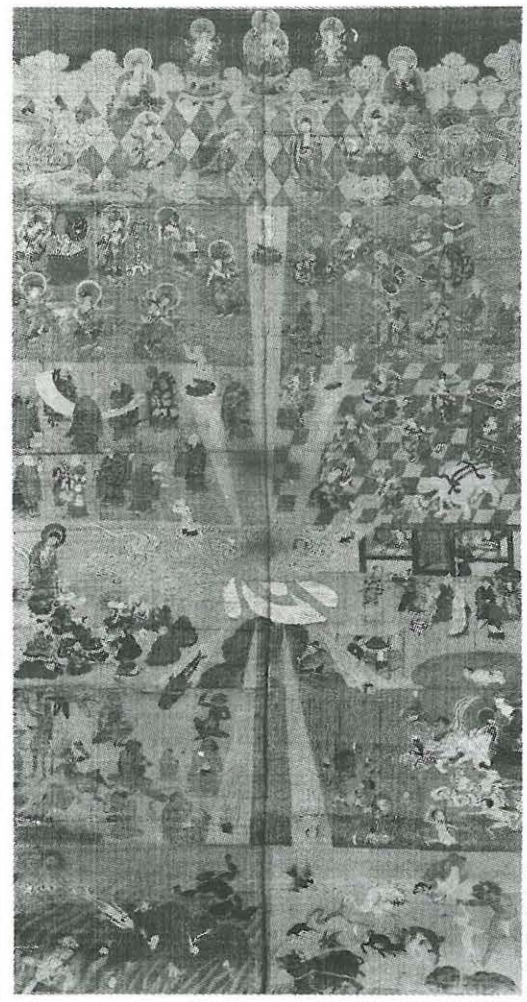
広報ひらつか

人口　254,343人
世帯　89,852世帯
（平成7年10月1日現在）

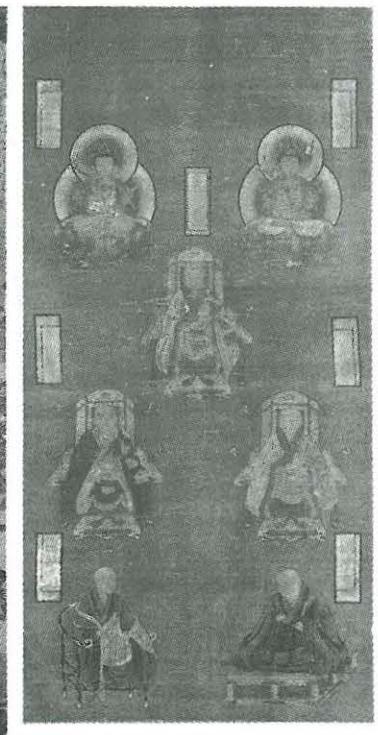
平成7年11月15日／毎月1日・15日発行／102,500部／神奈川県平塚市役所発行
編集・企画部広報広聴課／〒254　平塚市浅間町9番1号　電話23―1111・35―1111

室町時代の絵画3件を 市の重要文化財に新指定

市教育委員会では、市内三カ所の寺院が所蔵する室町時代の絵画三件（六幅）を、十月二十五日付けで新たに市重要文化財に指定しました。いずれも絹地に彩色を施した「絹本着色（けんぽんちゃくしょく）」といわれる様式の絵画で、室町時代前期から後期にかけて制作されたものと推定されます。この指定により、市内の重要文化財は国指定が三件、県指定が六件、市指定が二十六件の合計三十五件となりました。



「観心十界曼荼羅図」。画面中央やや下に「心」の字を描き、そこ（人間界）から他の九界へ転生する人々の姿を描いている



「浄土七高僧像」。戦国期の浄土真宗について語るうえで大きな資料的価値がある

今回指定されたのは、善徳寺（南原）所蔵の「絹本着色法然上人像」、長善寺（東八幡）所蔵の「絹本着色観心十界曼荼羅図」、真福寺（馬入本町）所蔵の「絹本着色親鸞聖人像」「絹本着色聖徳太子像」「絹本着色浄土七高僧像」「絹本着色蓮如上人像」の計三件です。

教育委員会では、平成四年度から市内の中世近世絵画を調査していますが、いずれの作品も「中世絵画として貴重で資料的価値が大きい」ことが指定理由です。

それぞれの特徴は

今回新たに重要文化財に指定された絵画の特徴は次のとおりです。

◇法然上人像

法然上人像（部分）

浄土宗の開祖法然を描いたもので、市内最古の「僧空海画像」（市指定重要文化財・芳盛寺所蔵）とほぼ同時期の室町時代前期の作とみられます。県下でも、これほど古い法然像はほかに例がなく、関東地方でも珍しいものです。

◇観心十界曼荼羅図

仏教で説く十界の有り様を上下六段に分けて描いたもので、室町時代中期の作と推定されます。なかでも画面中ほどに描かれた往来や臨終の場面での人物像は、当時の風俗の一端をうかがわせるものとして注目されます。本図は室町時代の絵画の特徴をよく示しているうえ、画面の構成もほかに類例のない珍しい作品です。

◇親鸞聖人像ほか全4幅

いずれも真福寺の開山期にさかのぼる室町時代後期の作と推定され、本山の本願寺から主従関係のあかしとして下付されたものと考えられます。県内では室町時代のこの種の画像は数少ないうえ、浄土真宗の門徒支配の在り方を物語る貴重な資料といえます。

市内の重要文化財

（今回指定のものを除く）

●国指定重要文化財

種別	名称	員数	管理者等（地区）
有形：彫刻	木造不動明王立像	1軀	下吉沢地区・松岩寺（下吉沢）
有形：建造物	光明寺本堂内厨子（付）前立聖観世音菩薩像	1基	光明寺（南金目）
史跡	五領ケ台貝塚		平塚市（広川）

●神奈川県指定重要文化財

有形：彫刻	木造大日如来坐像	1軀	高林寺（四之宮）
有形：彫刻	木造金剛力士立像	2軀	光明寺（南金目）
有形：工芸品	光明寺銅鐘	1口	光明寺（南金目）
有形：建造物	四脚門	1棟	妙覚寺（下吉沢）
有形：建造物	光明寺観音堂（本堂）	1棟	光明寺（南金目）
無形：民俗	相模人形芝居前鳥座		前鳥座（四之宮）

●平塚市指定重要文化財

有形：絵画	僧空海画像	1幅	芳盛寺（土屋）
有形：絵画	風外慧薫墨画・墨蹟	16幅	平塚市博物館
有形：絵画	大山寺縁起絵巻	2巻	平塚市博物館
有形：絵画	中原御宮記	1巻	平塚市博物館
有形：彫刻	木造聖観世音菩薩立像	1軀	光明寺（南金目）
有形：彫刻	木造薬師如来立像	1軀	宝積院（上平塚）
有形：彫刻	木造薬師如来立像	1軀	正福寺（大島）
有形：彫刻	木造十二神将立像	12軀	正福寺（大島）
有形：彫刻	木造阿弥陀如来立像	1軀	善福寺（広川）
有形：彫刻	木造地蔵菩薩坐像	1軀	磯部三郎氏
有形：彫刻	木造薬師如来坐像	1軀	平等寺（豊田）
有形：彫刻	木造阿弥陀如来および観音・勢至両菩薩立像	3軀	薬王寺（纒）
有形：彫刻	木造地蔵菩薩半跏像	1軀	延命寺（上吉沢）
有形：建造物	金目観音堂二（仁）王門	1棟	光明寺（南金目）
有形：建造物	北金目神社本殿	1棟	北金目神社
有形：古文書	光明寺古文書	2巻	光明寺（南金目）
有形：古文書	清田家（尼屋）文書	6通	清田恒顕氏
有形：古記録	光明寺縁起書	1巻	光明寺（南金目）
有形：古記録	駒形神社棟札・勧化札	11枚	駒形神社（岡崎）
有形：古記録	北条氏所領役帳	1冊	今井治良氏
無形：民俗	田村ばやし		保存会（田村）
無形：民俗	前鳥神社祭事		保存会（四之宮）
無形：民俗	前鳥囃子		保存会（四之宮）

※個人所有のものについては「地区」を省略させていただきました

民俗芸能まつりを開く

湘南座の演技

第十九回ひらつか民俗芸能まつりが、今年も中央公民館大ホールを会場に開催されます。これは、市内に伝わる民俗芸能を広く市民のみなさんに紹介し、その伝承・保存に役立てようと行われるものです。

日ごろ目にする機会の少ない郷土芸能にふれるよいチャンス。入場は無料ですので、ぜひご鑑賞ください。

◇日時　11月26日(日)午後0時30分開場、1時開演
◇出演団体および演題
▽人形浄瑠璃芝居の部
・湘南座　「序　三番叟」、「傾城阿波之鳴門―巡礼唄之段―」
・平塚市役所文楽研究会「壺坂霊験記―沢市内から山之段まで―」
・前鳥座（神奈川県指定無形民俗文化財）「艶容女舞衣―酒屋之段―」
▽太鼓の部
・豊田ばやし保存会　「豊田ばやし」
◇問い合わせ先　社会教育課（内線528）

市民豆ルポ おじゃまタイム 30 学園の人たち

江南高校が15年ぶり優勝

県高校軟式野球秋季大会で、優勝を果たした江南高校。野球部員のみなさんに、その時の感激や、苦労話をお聞きしました。取材は平名眞知子さん（東中原）

県大会で、江南高等学校が、強豪を打ち破り十五年ぶりの優勝！取材では、マネージャーを含む出席部員全員が語ってくれました。

勢ぞろいしたメンバー

印象的だったのは、チーム全体が大変明るいことでした。

勉強との両立はどんな工夫をしているかの苦労話は、本音がなかなか聞こえてきませんでしたが、夏休みの四分の三を費やし厳しい練習に耐えた、また、帰宅し、寝て目が覚めると朝だったなど、野球音痴の私にも猛暑での練習風景が見えてくる思いでした。

主将は、準決勝の先発ピッチャーを、二人のどちらにしようかと迷って寝つけなかったそうです。調子が悪い方の選手が、遅くまで練習している姿を見ていたからです。

また、だれとはなく「どこのチームにも負けない練習をこなし、このチームで勝って良かった」と、個々の喜びと共にさりげなく仲間をたたえる姿がさわやかでした。OBでもある監督からの「一年生のレギュラーと、二年生の控えがいい感じで刺激しあっている」との言葉どおり、横のつながりが和やかになっているようです。

話をしている間も、優勝の喜びがどの顔にも素直に写しだされ、一人が「来年、二年連続優勝出来るよう頑張りたい」との言葉で決めてくれました。

また、名前も知らないOBたちが練習を見に来て励まされ、さらに優勝すればラーメンをごちそうしてくれるとの約束で、その時のラーメンの味が最高だったそうです。女子マネージャーもひとこと。試合中の顔も、優勝の時の顔も良かったとの感想を言ってくれました。

保育園児の募集

保護者が直接申請を

生活インフォメーション

福祉事務所では、来年四月から新たに保育園に入園を希望されるお子さんがいる家庭に申請書をお配りします。なお、お配りする際に家庭の状況などをお聞きしますので、必ず保護者がお越しください。

また、現在入園中の児童を引き続き入園させる希望のある保護者については、後日各保育園から連絡します。

お問い合わせは児童福祉課保育係(内線214)へ。

▽申請書の配布　12月12日(火)～13日(水)

▽申請書の受付　1月11日(木)～12日(金)

※場所はいずれも児童福祉課

保育園の一覧表

	施設名	所在地
公立	神田保育園	田村
	金田保育園	入野
	須賀保育園	高浜台
	南原保育園	南原
	吉沢保育園	上吉沢
	花水台保育園	花水台
	しらさぎ保育園	東中原
	夕陽ケ丘保育園	夕陽ケ丘
	若草保育園	横内
	大神保育園	大神
社会福祉法人	平塚保育園	宮の前
	柳町保育園	平塚
	明石町保育園	明石町
	白百合保育園	立野町
	あさひ保育園	河内
	横内保育園	横内
	いずみ保育園	万田
	金目保育園	北金目
	八幡保育園	四之宮
	大町保育園	根坂間
	ゆうかり保育園	岡崎
	中原保育園	中原
	高村保育園	高村
	富士見保育園	平塚
	みどり保育所	四之宮
	もんもん保育園	花水台

開放保育実施　保育園を追加

広報ひらつか十月十五日号の「保育園の育児支援事業・開放保育を実施している保育園」の記事の中で、次の保育園、および開放日時が抜けていましたので追加します。

・横内保育園　毎月第2、第4火曜日の午前9時～11時

・大神保育園　毎週水曜日の午前9時30分～11時

▽問い合わせ先　児童福祉課保育係(内線215)

火災が多発！

不審火に特に注意を

火災が多発しています。今年の発生件数は十月末までに百十三件で、昨年同期と比べ二十一件増加しています。特に目立つのが放火(疑いを含む)による火災で、昨年比十一件増の三十四件も発生しています。

十月三十一日未明には金田地区で放火によるとみられる火災が三件連続発生。特に二件目は、一件目の火災の消火活動に出動中で無人の消防分団詰め所で発生したもので、同詰め所約四十平方メートルを半焼しました。

消防本部では警察署などと協力して警戒にあたっていますが、みなさんも特に次の点にご注意ください。

・家の周囲を整理整とんし燃えやすいものを置かない

・不審者が敷地内、室内に入ることができないよう戸締まりに気をつける

・常夜灯を設置するなど家のまわりを明るくする

・車やバイクのカバーは燃えにくい素材を選ぶ

・隣近所と協力して、放火されにくい環境づくりに努める

▽問い合わせ先　消防本部予防課(内線394)

市営住宅の入居者募集

市では、市営住宅の空き家に入居を希望される方を六月、九月、十二月の三回募集しています。

十二月分の申し込みは、十二月七日(木)、八日(金)、十一日(月)の三日間、午前九時から午後四時まで市役所B会議室で受け付けます。なお、申し込みは一世帯につき一住宅に限ります。また、申し込み多数の場合は抽選となります。

入居資格、募集住宅の間取りなどについては、市役所受付窓口、同建築課、駅前市民窓口センター(MNビル十階)、および各公民館でお配りする「募集のしおり」を参照してください。

お問い合わせは、建築課住宅係(内線464)へ。

◆今回の入居者募集住宅

▽万田貝塚住宅　1種1戸、2種1戸

▽岡崎住宅　1種3戸

▽龍城ケ丘住宅　1種1戸

▽東中原住宅　1種2戸、2種1戸

▽中原上宿住宅　2種1戸

▽田村植竹住宅　2種1戸

▽宮の前住宅　2種1戸

▽虹ケ浜住宅　1種1戸

▽虹ケ浜東住宅　1種1戸

▽中原子の神住宅　2種1戸

年金現況届の証明

年金を受給されている方に毎年一回社会保険庁などから送られてくる「受給権者現況届」の中に、市町村長の証明を受ける欄がありますが、この証明は次の場所で受けることができます。

・市役所1階市民課窓口

・市内15か所の「市民窓口センター」(MNビル10階、なでしこ公民館、大野公民館、豊田公民館、神田公民館、大神公民館、城島公民館、岡崎公民館、金田公民館、金目公民館、土屋公民館、吉沢公民館、旭北公民館、旭南公民館、および東海大学湘南校舎同窓会館内)

▽問い合わせ先　保険年金課年金係(内線251)

申し込み、問い合わせは市役所へ

・電話　23－1111、35－1111(内線番号を交換手へ)

・住所　浅間町9番1号(担当課名のご記入を)

12月4日から人権週間

十二月四日から十日までは人権週間(法務省ほか)です。市では、これにあわせて「特設人権法律行政相談」と「人権講演会」を行います。

◇**特設人権法律行政相談**

相談は人権擁護委員、行政相談委員、民生・児童委員、教育相談員が無料でお受けし、秘密も守られます。

▽日時　12月5日(火)、午後1時～4時

▽会場　ひらつかスカイプラザ会議室(MNビル11階)

▽相談受付内容　夫婦、親族、隣近所、いじめなどの困りごとや心配ごと

▽問い合わせ先　地域づくり課市民相談係(内線293)

◇**人権講演会**

▽日時　11月28日(火)、午前9時～

▽会場　教育会館大ホール

▽テーマ　「今、人権とは何か」

▽講師　横浜国立大学助教授　北川善英氏

▽問い合わせ先　福祉政策課(内線217)

生活HOT NEWS

様々な交流事業を

東海大学と交流10周年

市と東海大学は昭和六十年、心豊かな地域社会の創造や学術文化研究の振興などを目的に、幅広い分野で交流を進めていくことを申し合わせました。以後、市の各種講座や審議会への大学からの人材派遣、図書館や体育施設の相互利用などが活発に行われてきました。

市内には二つの大きな大学(東海大学と神奈川大学)がありますが、大学とそれを取り巻く地域社会のつながりは双方の発展のために欠かせません。

ぜひ、今後予定されている記念事業に参加して、これからの交流の在り方についてご一緒にお考えください。

先日行われた市長（写真左）と松前学長（写真右）との対談では、幅広い分野での協力を再確認した

◇**今後予定されている事業**

▽公開セミナー「大学のあるまち　平塚」講師　吉野稜威雄市長

・日時、会場　11月21日(火)午後5時～、東海大学湘南校舎松前記念館

▽市民・大学交流コンサート

・日程、会場　2月中旬、市議会議場

▽その他、大学施設見学会や市民参加の討論会など

※日程等詳しいことは「広報ひらつか」でお知らせします

◇担当　企画調整課(内線323)

臨時職員の募集

◇**職　種**　栄養士

◇**募集人員**　1人

◇**応募資格**　30歳以下の管理栄養士免許取得者で、休日勤務、早出勤務の可能な方

◇**勤務場所**　市民病院

◇**期　間**　平成8年1月8日から約1年間

◇**賃　金**　時給900円

◇**申し込み**　11月22日(水)までに履歴書と免許証の写しを市民病院庶務課(☎32-0015内線3197)へ本人が直接持参する

11月納期の市税・手数料

◆**対象税等**

・固定資産税　(第4期)

・国民健康保険税　(第6期)

・国民年金保険料　(第8期)

・清掃し尿従量手数料　(第8期)

◆**納期最終日　11月30日(木)**

市民相談

市民相談室(市役所)☎(23)1111内線293

◇**人権法律相談・行政相談**　11月21日(火)　13時～16時

◇**一般法律相談**　毎週水曜日13時～16時、予約制

◇**登記供託測量相談**　12月8日(金)　13時～16時

◇**住宅相談**　11月21日(火)　13時～16時

◇**発明考案特許相談**　12月4日(月)　10時～15時

◇**下請取引相談**　11月16日(木)、12月21日(木)　13時30分～16時

12月14日(木)　13時～16時

◇**労働相談**　12月12日(火)　10時～15時

◇**社会保険労務相談**　毎週金曜日9時～16時

◇**消費生活相談**　毎週月～金曜日9時～16時

◇**一般市民相談**　毎週月～金曜日9時～16時

青少年相談室(市民センター)☎(34)7311

◇**青少年相談**　毎週月～金曜日9時～16時

◇**悩みごとは〝ヤングテレホン〟☎(33)7830**

毎週月～金曜日9時～18時30分(土曜日は13時～18時30分)

もしもし健康相談(保健センター)☎(34)1221

毎週月・木曜日10時～16時

福祉会館☎(33)2333

◇**専門(法律、金融、住宅、医療)相談**　12月14日(木)　13時30分～15時30分、予約制

◇**生活支援相談**　毎週月～金曜日8時30分～17時

◇**ボランティア相談**　毎週月～金曜日8時30分～17時

◇**結婚相談**　毎週日曜日10時～15時(第3日曜日は除く)

◇**母子相談**　毎週月～金曜日9時～16時

◇**家庭児童相談**　毎週月～金曜日9時～16時

◇**婦人相談**　12月14日(木)　10時～15時

◇**高齢者職業相談**　毎週月～金曜日9時30分～16時

子ども教育相談センター(崇善小学校北側)☎(36)6012

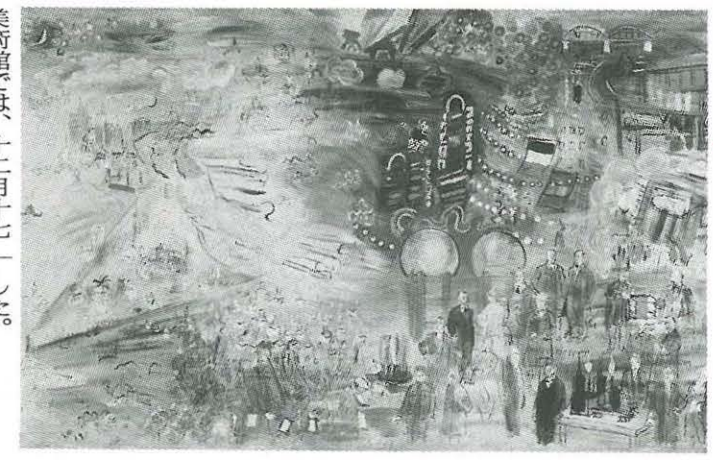
◇**電話相談**　毎週月～金曜日9時～17時　毎週月～土曜日9時～17時(第2・第4土曜日を除く)

子育て相談室(須賀保育園2階)☎(21)7639

毎週月～木曜日9時30分～16時(木曜日は12時まで)

イベント情報館

生命の讃歌 デュフィ展を開催



「電気の精（部分）」。構図は上下二段に分かれ、上段には電気の発見に伴う環境の変化を、また下段には電気の歴史上の重要人物110人を描いている

美術館では、十二月十七日まで企画展「デュフィ展」を開催しています。

明るい色彩の律動する線。まばゆい光と幸福感に満ちた世界を描いた画家ラウル・デュフィは、一八七七年、フランスに生まれました。

芸術一家に育ったデュフィは、当時のフランス美術の潮流に影響を受けながら「生命の讃歌」と評される独自の世界を創り上げました。そのモダンで優雅な、そして何よりも喜びにあふれる作品は、フランスの近代絵画を代表するものといえます。

デュフィは、一九三七年パリ万国博覧会の際、パビリオンの一つである電気館のために大壁画「電気の精」を制作します。高さ十メートル、幅六十メートルにおよぶこの大作は、古代から始まる電気にまつわる科学の歴史が壮大な構図によって描かれています。

今回の企画展では、この「電気の精」の十分の一の縮尺版と、初期から晩年に至るデュフィ芸術の全容をパリ市近代美術館とポンピドーセンター国立近代美術館の所蔵作品八十七点によってたどります。

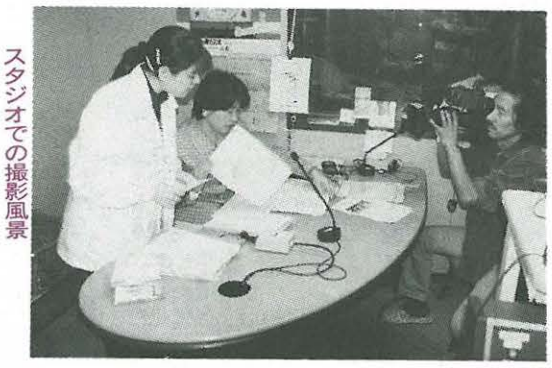
▽会期　12月17日(日)まで（月曜日休館）
・開館時間　午前9時30分～午後4時50分
▽出品作品　ファレーズの教会広場、ル・アーヴィルの庭と家、青い背景の横たわる裸婦ほか
▽観覧料　一般　八百円、大学生・高校生　六百円、中学生・小学生　四百円
▽問い合わせ先　美術館☎(35)2111

カルチャー教室講師の募集

専門的な講座から、楽しみながら豊かな人間性をはぐくむ講座まで、広く親しまれているカルチャー教室。市ではこのカルチャー教室の講師となっていただく方を募集しています。

▽講座内容　教養講座（人文科学・文学文芸・生活科学・自然科学等）、芸術文化講座（芸術・趣味娯楽等）
▽締め切り　12月15日(金)
▽申し込み先　市民センター☎(32)2235

潮風のRADIO テレビ神奈川で放映



スタジオでの撮影風景

市では、FM湘南ナパサの番組づくりに参加する、市民・地元大学生・スタッフたちのお話から地域に密着したコミュニティ放送局の姿を紹介する「潮風のRADIO」を放映します。

ぜひ、ご覧ください。

▽日時　11月18日(土)午前11時45分～正午
▽番組名　こんにちは神奈川
※放映した番組のビデオは図書館視聴覚ライブラリーで貸し出します

入賞おめでとう

市では、小・中学生を始め、市民のみなさんの豊かな感性をまちづくりに生かしてもらおうと、絵画や標語のコンクールを実施しました。主な入賞者は次のとおりです。（敬称略）

横田圭亮君の作品

緑化ポスターと緑の標語を

緑の保全や緑化に対する意識を高めることを目的に緑化ポスター・標語コンクールを実施しました。

◆ポスターの部　応募一千五十四点
▽金賞　横田圭亮（港小1年）、内田知世（松原小2年）、遠藤由香（旭小3年）、山川詩織（崇善小4年）、新藤幸心（勝原小5年）、石井利昌（山下小6年）、上野聡子（山城中1年）、田中梓（旭陵中2年）、柴田真紀子（旭陵中2年）
◆標語の部　応募一千四十三点
▽最優秀賞　「広げよう！植える木　育つ木　心とみどり」今井トシ子（一般・豊原町）
▽優秀賞　「くすの木にやさしく包まれ　なごむ街」原聡美（金田小5年）、「緑の輪　広げていこう手をつなぎ」宮前好（金目中1年）、「今、増やす　未来に恥じない　みどりの資源」中川吉雄（一般・諏訪町）

観光風景写生コンクール

市内の観光スポットや行事などを子供たちの作品を通して広く紹介してもらおうと、湘南ひらつか観光風景写生コンクールを行いました。応募一千四百六十点。

▽優秀賞　米田美紀（崇善小3年）、原田恵（八幡小4年）、大谷陽子（金目中3年）
▽金賞　古屋敷幸恵（花水小1年）、武藤華子（大磯小1年）、川端崇陽（港小3年）、加藤隼（港小4年）、相原英聴（花水小5年）、武田啓吾（港小6年）、佐藤紘香（江陽中3年）

米田美紀さんの作品

文化祭の入賞者決まる

第四十三回平塚市文化祭の入賞者が決まりました。主な入賞者は次のとおりです。（敬称略）

▽写真の部　応募百十三点
・市長賞　笹尾敏子（松風町）、市議会議長賞　土方保造（上吉沢）、教育委員会賞　斎藤幸子（茅ケ崎市）、平塚写真連盟会長賞　高橋通泰（中堂）、商工会議所会頭賞　武田秀夫（夕陽ケ丘）、平塚市文化連盟会長賞　角田孝（藤沢市）
▽美術の部　応募百十三点
・市長賞　入倉芳子（菫平）、市議会議長賞　白田政子（二宮町）、教育委員会賞　安田文夫（茅ケ崎市）、平塚美術協会賞　井上智（茅ケ崎市）、商工会議所会頭賞　熊沢幸子（御殿）、平塚市文化連盟会長賞　小山延子（高村）

環境ポスター・標語コンクール

山本真季子さんの作品

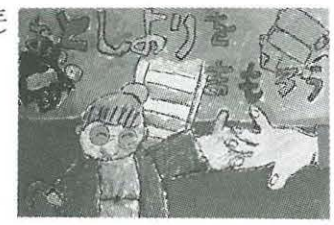
美しい街づくりやごみのリサイクル、地球環境などについての関心を高めてもらおうと、クリーン平塚・環境ポスター・標語コンクールを実施しました。

◆ポスターの部　応募三百三十四点
▽金賞　山本真季子（富士見小5年）、升水信一郎（春日野中2年）
◆標語の部
▽「ごみ部門」応募六百五十五首
・金賞　「出かけたら　ごみと思い出　もちかえる」茂田佑樹（神田小5年）、「汚すまい　明日もみんなが　歩く道」蛭川賢一（春日野中2年）
▽「環境保全部門」応募三百四十五首
・金賞　「ちょっとした心づかいが　省エネだ」杉山智司（土屋小6年）、「大切に　自然がくれた　この資源」中戸川雄太（江陽中2年）

交通安全啓発のポスターと作文

小学生を対象に、交通安全意識や交通マナーを高めるため、交通安全啓発ポスター・作文コンクールを行いました。

◆ポスターの部　応募二百二十七点
▽金賞　石垣幸太（山下小2年）、並木雅也（神田小4年）、佐藤早織（富士見小5年）
◆作文の部　応募三十点
▽最優秀　吉川愛（城島小4年）、熊澤礼花（中原小5年）



石垣幸太君の作品

クッキング講習会

国際交流事業の一環として、アメリカ料理と和風シュウマイづくりを学ぶ講習会が開かれます。

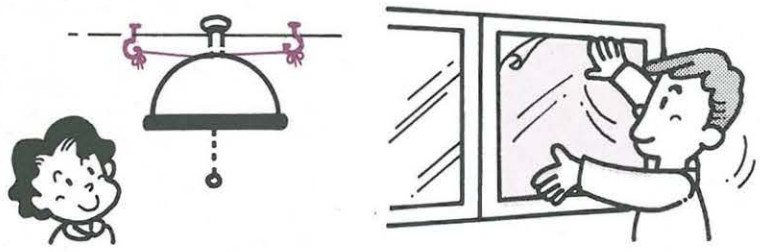
ぜひ、ご参加ください。

▽日時　11月25日(土)、午前10時～午後2時
▽会場　中央公民館
▽参加費　1人一千円
▽定員　25人
▽申し込み先　交流親善課（内線597）

我が家の防災対策を確認

ガラスの飛散防止、照明器具の固定

地震の際に割れたガラスの破片は「凶器」に変わります。地震が起こる前にガラスが飛び散らないよう「飛散防止フイルム」をはったり、照明器具が落ちてこないように固定しておきましょう。



・担当　防災課（内線357）

国民年金加入者のみなさん

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。保険料を未納のままにしておくと老後の保障がなくなるだけでなく、万一の事故や病気のときに年金を受けられなくなる場合があります。保険料は納め忘れのないようにご注意ください。なお、国民年金保険料の収納と年金相談を次のとおり行います。まだ納めていない保険料のある方や、年金についての相談がある方は、納付書と年金手帳をお持ちになってお越しください。

◇会場および日程
・12月15日(金)　旭南公民館
・12月18日(月)　市役所1階市民ホール
・12月19日(火)～21日(木)　駅前市民窓口センター（MNビル10階）
※時間はいずれも午前9時～午後3時
◇問い合わせ先　保険年金課年金係（内線251）

ホットHOTほっと

減らせるよ　むだが増やしたごみだもの
身近なごみ減量法を紹介

ごみを減らすにはどうしたらよいのでしょうか。資源再生ごみの分別収集を導入して十年。市民のみなさんのご協力により、平塚市のごみ資源化率は全国的にも高い水準を保っています。しかし、出されるごみの量は一向に減りません。今回は、日常生活の様々な場面でごみを生み出さないよう考える「プレサイクル」と、再生品の利用による「リサイクルの推進」について紹介します。ごみを減らすにはどうしたらよいのでしょうか。みなさんもぜひお考えください。

使い捨てがごみを増やす

たくさんの「もの」があふれ、いらなくなったら捨てることが当たり前のような「使い捨て」社会。今日のごみの量の増大は、この「使い捨て」が招いた結果だと言っても過言ではありません。

例えば、飲料水の容器。かつては一升びんやビールびんなど、繰り返し使われる容器が主流でした。しかし、現在は一度使ったら捨てられてしまう缶やびん、ペットボトルなどに取って代わられています。

回収や洗浄の手間、それに伴う人件費の高騰などが理由として挙げられていますが、いずれにしても「使い捨て」容器は年々増産され、その分ごみが増えているのです。

毎日の生活を振り返ってみても、二重、三重の包み紙、どっさり入ってくる新聞の折り込み広告、一方的に送り付けられるダイレクトメールなどは、紙の「使い捨て」につながっています。そのほかにも、弁当の容器やはし、プラスチック製のスプーンやフォークなど「使い捨て」られることを前提に作られ、使われているものは数えきれません。

～ごみを減らすために～

昨年度1年間に出されたごみの量は市民1人あたり313.6kgで、その処理費は10,548円。市全体では26億7,384万円あまりにもなる（資源再生ごみを除く）

◆捨てる前・買う前に考える　買ったものは修理や部品の交換をして長持ちさせよう。ものを買うときは本当に必要なものか、よく考えよう

◆買ったものは使い切る　鉛筆や消しゴム、歯磨き粉などは最後まで使い切ろう

◆過剰包装は断る　おおげさな包み紙やリボンは余計な時間やお金がかかり、ごみも増やしてしまう

◆詰め替え商品は中身だけ買う　詰め替えて使える容器は捨てないで、中身だけ補充しよう

◆ティッシュよりぞうきんを　水や食べ物をこぼしたときは、ぞうきんや台ぶきんを使うようにしよう

◆きちんと分別　ごみが資源として生き返るか、ただのごみとなってしまうかは、ごみを出すときに決まる

ごみの減量は私たちしだい

一見豊かで便利な「使い捨て」社会。しかし、それは限りある資源をむだにして、大量のごみを出すという二重の環境破壊の上に成り立っています。

環境の危機が叫ばれている今、ごみを減らし資源を有効に利用する「地球にやさしい」暮らし方が世界的に求められています。私たちは今までの生活を見直し、ごみを生み出さないこと（プレサイクル）を常に考え、出てしまったごみは有効に活用（リサイクル）していかなければなりません。

「使い捨て」社会で生活している私たちには、日常生活のあらゆる場面でごみを減らすチャンスがあります。ごみが減量できるか、できないかは、私たちしだいなのです。

プレサイクルとはごみを生み出さないこと

プレサイクルとは、リサイクルする前（プレ）の段階でごみをいかに減らすかを考えることです。リサイクルは、ごみを減量するために有効な手段の一つですが、それだけでは現在のごみの量は減らせません。

私たちが、ものを購入する段階から「将来ごみを生み出さないか」「ごみになったとき処理がしやすいか」などを考え、工夫していくのがプレサイクルです。

買い物袋の持参効果あります

「スーパーのレジ袋を後で使おうと思ってためておいたけれど、使うよりたまるほうが多くて結局ごみになってしまった」。こんな経験はありませんか。

スーパーやコンビニエンスストアのレジ袋（レジでもらうポリ袋）を、私たちは一世帯あたり一週間に八・四枚ももらっています（通産省調べ）。この数字は、私たち一人一人が買い物袋やかごを持って行けば、その分「ごみ」が減らせることを示しているともいえます。

そのほかにも、ガムや乾電池などを買うときは店のシールをはってもらって済ませるなど、私たちの身の回りにはごみを減らすチャンスがたくさんあります。そして、そのような小さな行動の積み重ねが資源を大切にし、ごみを減らすことにつながるのです。

ウォッチングひらつか

海辺の植物を楽しみながら…

海野成さん（黒部丘）

私の好きな散・歩・道

四年前、藤沢の辻堂東海岸からこの地に移り住んで以来、気が向くと妻と花水川河口から「平塚砂丘夕映え」の碑のあたりまで歩いている。

この地は、更科日記の一節に「もろこしがはら」と記されている由緒ある場所だ。作者菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ）は、この同じ景色を眺めながら、どんな思いで旅したのかと、思い巡らすのも楽しい。

伊豆から丹沢まで一望できる雄大なパノラマは絶品で見飽きないが、足元に育つ海辺の植物もまた貴重な自然をとどめており、平塚海岸の魅力の一つとなっている。

過酷な自然条件に耐えて生育しているケカモノハシ、ハマヒルガオ、コウボウムギなど多くの海辺の植物を見ながらの散歩は楽しみだが、希少種のウンランやハマニガナを見つけたときは、また言いようもなく嬉（うれ）しい。

自然環境の保全が叫ばれているが、これらの植物は減少しているという。この「もろこしがはら」に現存する海浜植物が群生できる環境を残せば、平塚海岸では近隣にない景観がいつまでも楽しめるのではないだろうか。

県では「湘南なぎさプラン」で海岸を整備するという。ぜひ、海浜植物の保全や再生をと願う。

《募集》日常親しんで通る散歩道を紹介していただくコーナー。五百字程度の紹介文をお送りください。

《送り先》〒254平塚市浅間町9－1　平塚市企画部広報広聴課「私の好きな散歩道」係。

親子ふれあい　もちつき＆ウォークラリー

◇日時　12月9日（土）
午前9時30分～午後3時

◇会場　びわ青少年の家
（土屋2710-1・☎59-0871）

◇対象・定員　市内にお住まいの小・中学生とその親60人（先着順）

◇参加費　800円（未就学児は半額）

◇申し込み方法
11月18日（土）から26日（日）までの間（20日（月）と23日（祝）は休み）に参加費を添えて、びわ青少年の家、または青少年会館（浅間町12-41・☎32-7029）に申し込む。

第20回青少年健全育成のつどい

◇日時　11月23日（祝）
午後1時～3時30分

◇会場　中央公民館大ホール

◇内容
第1部　式典
・青少年健全育成功労者表彰
・善行青少年表彰
・少年の主張作文最優秀者発表
第2部　記念コンサート
・出演　神奈川県警察音楽隊

◇問い合わせ先
青少年課（青少年会館内・☎32-7029）

七夕まつりのパレードで

リサイクルとは 再生品を使うこと

リサイクルの輪

ごみ処理経費を減らし、資源やエネルギーの節約にもなるリサイクル。しかし、ごみを分別して出すだけではリサイクルは成立しません。

集められた資源再生ごみも、そこから再生品が作られ、そして使われなければ「リサイクルの輪」が循環せず、ごみ減量につながりません。紙を例にすれば、私たちがトイレットペーパーなどの紙製品を買うときに再生紙を選ばなければ、集められた古紙も生き返らないのです。

「リサイクルの輪」を循環させる鍵は、私たち消費者の選択にあります。買い物をするときは「エコマーク」などを参考に、「地球にやさしい」商品を選ぶよう心がけましょう。

エコマーク

プレサイクル標語コンクールの結果

プレサイクル標語コンクールの入賞作品が決まりました。応募70点。（敬称略）

▽特選　「無包装　プレサイクルの第一歩」二宮めぐみ（上吉沢）「生活のくふう一つで　ごみげんりょう」鈴木景子（菫平）「資源物不燃物　正しく分別ごみ減量」金子紀子（山下）

あの手この手でごみ減量

商店会の取り組みを紹介

◆平塚市ごみ減量化・資源化協力店制度

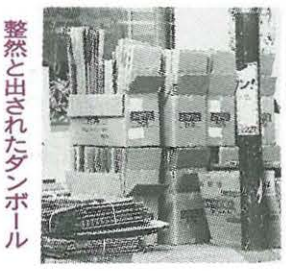
西海岸商店会では包装の簡素化や買い物袋の持参、プラスチックトレイの回収などに積極的に取り組もうと「ごみ減量化・資源化協力店制度」を始めました。

同商店会の石井さん（花水書店）によると「簡易包装だって、初めのうちは『包装をけちっていると思われる』とか、『万引きが増えないか』などの意見もありました。でも、各商店が自分の店でできることは何かを考え、無理をしないで少しずつ取り組もうと始めた」そうです。

スタートしての感想は、との質問には「お客さんに分かってもらうことが一番大切です。袋をもらって当たり前だと思っている方もいますから。だから、自治会などで説明会を開いたり、アンケート調査をしたりしています」「行政にも、協力店には入り口にはるステッカーを配るなどの支援をしてもらいたいですね」という答えが返ってきました。

なお、市では今年度中にごみ減量化・資源化のキャラクター等を決め、なるべく早い時期に「ステッカー」を配布する予定です。

◆平塚市資源リサイクルモデル商店会



整然と出されたダンボール

昨年度「紅谷町の商店」から出されたダンボールは約百㌧。しかし、商店など事業系のごみは自ら処理することになっているため、その多くは再利用されずに焼却処分されていました。

そこで、ダンボールを積極的にリサイクルさせようと、紅谷町、および明石町の一部の商店会が協力し、資源回収業者に有料で収集してもらうシステムをつくりあげました。

このモデル商店会幹事の常盤さん（トキワヤ）によると「準備に時間をかけたせいか、ほとんどの商店や企業がきちんと協力しています」とのこと。

「ダンボールの再資源化やごみ減量だけでなく、商店会の人みんなの『環境』に対する意識を高める効果もあったと思います。小さいことばかにしないで、こつこつと続けて行きたい」「将来は、ほかのごみの集団回収も行って、再資源化を進めたい」と抱負を語ってくださいました。

◆お知らせ

広報ひらつか12月15日号では年末年始のごみ収集日程、ごみの分類の仕方などについてお知らせします。

健康フェスティバル

カメラレポート

健康フェスティバルが今年も11月5日(日)に総合公園で開かれました。昨年とはうってかわっての晴天の下、5万人以上の人出でにぎわいました。

新登場のバンジートランポリン

健康チェックを

釣れたかな?

ギネスに挑戦記録は？

ともしび市民フェスティバル

ともしび市民フェスティバルも同時開催。車いすの体験リレーやパン食い競走などたくさんのイベントが行われました。即売コーナーでは、手作り品に人気が集まりました。

車いすの体験試乗

手作りキャンドルが人気

楽しいゲームも

催し物コーナー

博物館

☆プラネタリウム

「宵の明星、明けの明星」
・期間　1月7日(日)まで
・投影日時　土・日曜日、11時、14時
・観覧料　100円（11月25日、12月9日は18歳以下無料）

☆寄贈品コーナー

「考古部門　近年の発掘調査の成果」
・期間　11月29日（水）まで
「講のつどい」
・期間　12月1日(金)～1月30日(火)

☆星を見る会

「土星をみよう」
・日時　11月24日（金）19時～20時
・会場　博物館屋上（科学教室集合）
・参加　自由（曇り、雨天中止）

☆体験学習

「お飾りを作ろう」
・日時　12月17日（日）10時～15時
・会場　博物館講堂
・定員　30人（多数の場合は抽選）
・材料費　100円
・申し込み　12月4日（月）までに往復はがきで
「家紋凧作り」
・日時　12月24日（日）9時～16時
・会場　博物館科学教室
・定員　20人
・材料費　400円
・申し込み　12月9日（土）までに往復はがきで

☆漂着物を拾う会

・日時　12月9日(土)9時30分～11時
・集合　花水川橋平塚側たもと（雨天中止）
◇開館時間　9時～16時50分
◇休館日　毎週月曜日、月末
◇博物館
〒254　浅間町12―41　☎33-5111

青少年会館

☆青年社交ダンス教室

・日程　11月28日（火）、12月6日（水）、12日（火）、19日（火）、26日（火）の全5回
・時間　19時～21時
・会場　青少年会館集会室
・対象　18歳以上30歳以下の男女（高校生は不可）
・定員　30人（先着順）
・内容　簡単な社交ダンスの講習
・費用　500円
・申し込み　11月25日（土）までに青少年会館へ
◇開館時間　9時～21時30分（日曜日のみ9時～17時）
◇休館日　毎週月曜日
◇青少年会館
〒254　浅間町12―41　☎32-7029

美術館

☆市民アートギャラリー

【MOA平塚児童画作品展(絵画)】
・期間　11月15日(水)～19日(日)
【ひまわりの会（油絵）】
・期間　11月15日(水)～21日(火)
【静邱（きゅう）書作展（書）】
・期間　11月22日（水）～28日（火）
【藤村弘子ファミリー展（絵画、彫刻、版画）】
・期間　11月22日(水)～28日(火)
【教員美術展（絵画、彫刻）】
・期間　11月29日(水)～12月5日(火)
【日本画第7回なでしこ会展（日本画）】
・期間　12月6日（水）～12日（火）
【創作人形個展（人形）】
・期間　12月6日（水）～10日（日）
【「親と子による写生会」作品展覧会（絵画）】
・期間　12月14日（木）～17日（日）
【TWO＋ONE展（写真）】
・期間　12月13日（水）～19日（火）
◇開館時間　9時30分～16時50分
◇休館日　毎週月曜日、月末
◇美術館
〒254　西八幡1―1―3　☎35-2111

図書館

☆映画会

※会場は中央図書館です
「すてきなコンサート」「タマ＆フレンズ3丁目物語　クリスマス・イブのなぞ」
・日時　11月19日（日）10時、14時
「わんぱく漂流記」
・日時　11月26日（日）10時、14時
「クリスマスの贈り物」「おじいちゃん元気になってね！」
・日時　12月3日（日）10時、14時
「星の子」「フォックスウッド物語」
・日時　12月10日（日）10時、14時

☆資料の特集

「特集　中勘助」
中勘助の生誕110年、没後30年を記念して資料を展示します。
・期間　11月17日(金)～12月14日(木)
・会場　中央図書館貸出室
◇開館時間　火～日曜日　9時～16時50分（中央図書館の貸出室と参考室は金曜日のみ9時～18時50分）
◇休館日　毎週月曜日、月末
◇中央図書館
〒254　浅間町12―41　☎31-0415
◇北図書館
〒254　田村5155―1　☎53-1232
◇西図書館
〒254　山下760―3　☎36-3555